

はじめに

平成29年度厚生労働省「母性健康管理推進支援事業」において、建設業の職場における母性健康管理のあり方について調査研究するため、「働く女性の身体と心を考える委員会（以下、委員会）」を設け、「建設業における母性健康管理に関する通信調査」を実施しました。また、通信調査の結果から、母性健康管理の措置に関して理解のある取組を積極的に行っている企業10社に対してヒアリング調査を行いました。

通信調査、およびヒアリング調査の結果をもとに、委員会では、今後女性活躍が期待される建設業において、母性健康管理の理解促進を図るために本書を作成しました。

女性労働者が妊娠中・出産後も安心して働き続けられる職場環境をつくるためには、母性健康管理に関して制度化を図るだけでなく、実際に現場で働く女性労働者や職場の上司が、母性健康管理の措置について正しく理解することが重要です。

本書を通して、職場における母性健康管理の重要性をご理解いただくと共に、それらに対応した環境整備のための取組にお役立ていただければ幸いです。

最後になりましたが、本調査を実施するにあたり、ご協力いただきました、一般社団法人日本建設業連合会様、および会員企業の皆様に対し、心より御礼申し上げます。

< 通信調査 >

調査対象：企業調査（一般社団法人日本建設業連合会加盟企業140社）

：女性労働者調査（企業調査対象企業より対象者に配布依頼）

・建設業に就業経験があり、かつ就業中に末子の妊娠経験のある

（又は妊娠中の）女性労働者

・雇用形態は問わない

・末子の年齢…小学6年生まで

調査方法：紙媒体（郵送にて回収）orExcelデータ（専用メールアドレスにて回収）

調査期間：平成29年7月3日～8月4日

回 答 数：企業調査78件 女性労働者調査248件

< ヒアリング調査 >

調査対象：通信調査の回答事業所から選定10社